

二チイキッズ水戸保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年2月1日（日）～2月28日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年3月1日（日）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」を保育理念として子どもたちの育ちを理解し見守り、職員間で情報共有しながら援助して一人ひとりに寄り添う保育を心掛けた。
子どもの発達援助	個々の成長を喜び、言葉の代弁をしつつ集団での遊びや行動を見守っていた。子ども同士の関わりの仲立ちや言葉かけの工夫など思考しながら、養護と教育に重点を置き、子どもの生活と学びの両方を大切に子どもの安心と成長の両面に配慮し、日々の保育に取り組んだ。
保護者に対する支援	家庭においての子どもの様子や悩みなど傾聴し、育児のアドバイスや助言していくなどして保育の実践に役立てていった。また怪我につながることを踏まえて衛生面（爪切り等）などの協力をお願いしていった。
保育を支える組織的基盤	毎月の職員会議や毎日のミーティングで一人ひとりの成長、発達を理解し、課題について共有し改善にむけて職員が一体となって保育に取り組んだ。園内研修、社内研修、各分野キャリアアップ研修に取り組み保育の質の向上に努めた。

総評
年間行事においては、各担当職員が由来を伝えたり、また持ち帰り製作活動をし、家庭でも楽しめるよう、工夫を凝らして充実していた。運動会では動画視聴を行い保護者、職員で一人ひとりの成長を喜び楽しめた。「楽しくたべる子どもに～」を念頭におき、食育活動も毎月様々な企画を立案した。自ら作って食すという体験を行うことで食べることを意欲的に行うことができてよかった。さらにホームページや連絡帳を通して様々な様子を伝えることで成長や発達を保護者の方と共有することができ連携を深めることが出来た。保護者参加の英語レッスン、食育の実施で保護者同士のコミュニケーションを深めることが出来良い機会となった。引き続き子どもたちの養護と教育に重点をおき心と身体の育ちを支えていきたい。